



# 宮司プレス 百首

彦島八幡宮 宮司 ニューズ

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十七年 二月二十一日

◇宮司の柴田です。

思い起こせば、宮司プレスを発行したのは、宮司就任一年を迎えた、平成十八年六月五日のことでした。歳月の流れは、少しも止まらず、八年八ヶ月を経て、待望の百号に到達いたしました。 明治天皇様は、

「大空に そびえてみゆる 高嶺にも

登れば登る 道はありけり」

という御製(ぎよせい)

をお詠みになっていらっしやいます。 ようやく、ここまで辿(たど)り着きました。 これも、ひとえに、一言の感想やコメントを寄せてくれた人、ホームページの閲覧を楽しみにしてくれている人、たくさんの方々のお支えればこそであります。 心から感謝申し上げます。

ありがとうございます。 感激も一入(ひとしお)です。 この百号を一つの通過点として、さらなる、「お陰様で」という謙虚な心を忘れずに山の高みを目指していきたいです。 実は、古の人々は、「光」を「かげ」と読ませました。そこに、あたたかい日差しが、ふりそそぎ光があてられているからこそ、「影(かげ)」がで

るのです。「お陰様」ではなくて、「お光様」なのです。

宮司プレスの編集発行を自分一人で行ってききましたが、机のパソコンに集中して向かえることができたのも、家族や職員さんの配慮や気づかいあればこそです。 時にはコメントターターとしてのアドバイスを頂いたりして、切磋琢磨(せつさたくま)できた賜物です。 特に、実家の母からの辛口のアドバイスには、救われました。 まさに、宮司プレス発行の「お光様」です。

◇発行当時は、神社庁(じんじやちよう)の教化部(きようかぶ)という部署にある、教化講師会(きようかこしかい)という講演講師の資格も有せず、目下、取得にむけて刻苦勉励(こくくべんれい)の時でした。 そのような中、この宮司プレスの発行は、講演の資料作りの一面をにないつつ、講演のスキルアップに貢献したような気がします。 平成十八年には、講師会の講師補、さらに、平成二十一年には、講師に任じられ、現在、はからずも、講師会副会長を仰せつかっています。 私の講演講師の歩み

は、「宮司プレス」と共にあるといつても過言ではありません。 講演を依頼されますと、この宮司プレスの既刊号(きかんごう)を資料としながら、講演録を作成します。 一号の内容を詳しくお話しすると、約三十分のお話に構築できますので、依頼された時間によっては、二号ないし三号の既刊号を編集したりと工夫を要します。 つまり、本日発行の「宮司プレス」を含めて、百号の既刊号があるわけですから、三十分の百倍、つまりは、三千分、五十時間の講演資料となっているわけです。 あらためて、感慨深いものがあります。 前置きが、長くなつてしまいましたが、百号突破の記念、餞(はなむけ)、「祝儀」ということで、「容赦(ようじや)ください」。

◇明治時代の神道家(しんとうか)である、本田親徳(ほんだ ちかあつ)は、「産土百首」のなかで、

「音に聞き 眼に見える物等(ものら)

悉(ことごと)に 産土神(うぶすながみ)の 神身(みみ)にこそあれ」

と、詠まれています。 これからも、音に聞き眼に見える物、当たり前のことにも、神のなせるわざと、心から「感謝」をし「感動」して、そのことを皮膚から心にしみ込ませる、「涵養(かんよう)」「三感(さんかん)」という謙虚な気持ちを忘れずに過(こ)したいと

思います。そして、眼には見えない大自然の大きな力、産土神のお働き、命を授けてくれた親、これまで出会ったそれぞれの道の師匠、先達、今いかされている、この社会、「産土神」「親」「師匠」「社会」四つの恩に報いることができるように、「四恩」で、今ある命に感謝をし、三感四恩（さんかんしおん）の心がけを忘れずに、謙虚におつとめしたいと思えます。特に今年は、戦後七十年を迎えましたが、最小限の軍事力で、最大限の経済的繁栄を実現された先人たちのご恩にも報いなければなりません。

◇今年、旧暦で、新年になる前に立春が来る、「年内立春（ねんないりつしゅん）」です。季節の上では、春を迎えています。これからの季節は、「三寒四温（さんかんしおん）」といわれますので、季節にあやかり、前向きに少しずつ伸びていければと思います。  
ご自愛ください。

◇一月の祭典行事報告

▼歳旦祭

□本宮 \*一月一日 午前八時半



□兼務社

◆田の首八幡宮

\*一月一日 午前0時半

◆六連島八幡宮

\*一月十一日

□末社

◆福浦金刀比羅宮

\*一月一日 午前一時

◆貴布禰神社 午前6時半

▼元始祭 \*一月三日

▼会社関係安全祈願祭参拝

\*一月四日〜六日

▼月次祭

◆福浦金刀比羅宮 \*一月十日

◆本宮 \*一月十五日

▼どんど焼き

◆本宮 \*一月十八日



◆田の首八幡宮 \*一月十二日

▼養殖わかめ火入式 \*一月二十日

※山口県漁協南風泊支店

▼防災訓練 \*一月二十四日

※田の首八幡宮

◇一月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◆田の首八幡宮新年会 \*一月十二日

◆維蘇志会新年会 \*一月十八日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◆山口県神社庁下関支部三役会

\*一月十六日

◆山口県神社庁下関支部新年総会

\*一月十九日

◆山口県神社庁顧問参与会

\*一月二十日

▼西ロータリークラブ

◇例会 \*一月七日、十四日、二十一日、

二十八日

▼講演活動

◇下関RC卓話

\*一月二十六日

▼教誨活動、美称社会復帰促進センター

◇集合教誨(男子、女子)

\*一月二十六日

▼倫理法人会

◆下関市倫理法人会

◇早朝清掃奉仕、参拝 \*一月七日

◆下関市中央倫理法人会

◇参拝 \*一月五日

◇経営者モーニングセミナー

\*一月八日